

令和3年度第2回東葛北部地域保健医療連携・地域医療構想調整会議委員からの意見及び県回答について

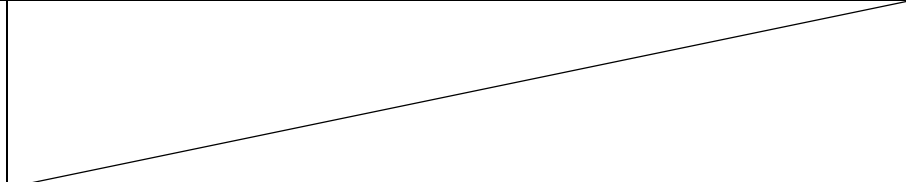
【議事】2025年に向けた医療機関毎の具体的な対応方針について

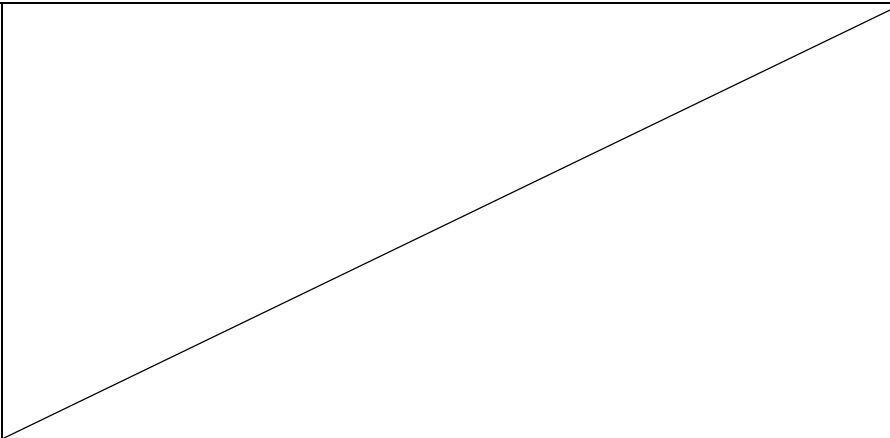
	意見	回答
1	地域の実情に応じた対応がなされたと考えている。	
2	可能であれば、非稼働病棟のある医療機関を、千葉県の臨時感染症対策病棟（スタッフも千葉県が揃えて）としての稼働ができればと思います。	<p>県では、保健・医療提供体制確保計画を策定し、感染者数の状況などを踏まえ、臨時の医療施設を含めた計画的な病床の確保を図っているところです。</p> <p>今回の新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ、各地域の医療機関の意向を聞きながら計画的に病床確保を図っていくなど、医療機関との連携を強化してまいります。</p>
3	各病院の「2025年に担う役割」は5疾病5事業に基づいているが、第8次医療計画（2024～2029）が5疾病6事業になることに合わせ、「新興感染症拡大時の入院対応」を追加するのが良いと思う。	<p>新興感染症等の感染拡大時における医療については、令和6年度からの次期医療計画の記載事項とされ、現在、国において、その具体的な記載内容等について検討されているところです。</p> <p>県としては、こうした国の動向を注視しつつ、調整会議等で寄せられた地域の皆様の御意見を受け止め、今後行われる次期計画の策定の際の参考とさせていただきます。</p>
4	非稼働病棟の今後の見通し等につきまして、今後の見込みが「未定」と報告がございますが、医療機関におかれましては抱えている課題や事情で明確な方向性を示すのは難しいと存じます。 事務局としては、随時、ヒアリングなどで状況の把握をされて	<p>御意見ありがとうございます。</p> <p>御指摘のとおり、個々の医療機関の事情が異なるため、一概に方向性的見通しを示すことは、難しいと考えられますが、今後の見込みが数年間「未定」のままであるなど非稼働の状況に進展が</p>

	いると思いますが、方向性の見通しはあるのでしょうか。	みられない医療機関を中心に、早期に再稼働を促すとともに、稼働の予定のない病院に対しては、病床数の変更を働きかけてまいります。
5	東葛地域は東京都に隣接しており、その利便性のよさから、近年若年人口が増加している。産婦人科、小児科のニーズは増えており、この科の医療機関の充実が急務である。その反面、高齢者層も増加しており、慢性期病床、地域包括ケアも促進しなければいけない。	引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、地域の実情に応じた質が高く効率的な医療提供体制が確保されるよう、医療機関や行政との連携を推進してまいります。
6	団塊の世代が後期高齢者となり高齢者医療の受け皿が重要になります。東葛北部においても更に高齢化社会が進むと予想されます。	ご指摘のとおり、高齢化社会に適切に対応できるように地域医療構想調整会議で協議してまいります。

【その他】

	意見	回答
1	地域医療構想研究会については、会議との連携を強く望む。	地域医療構想研究会は、地域医療構想調整会議をより有効に機能させるための方策等について、議論することを主目的に開催したものです。研究会の議論を踏まえ、地域で協議すべき課題、必要な取組等を整理し、地域医療構想調整会議に取り入れるよう努めてまいります。

2	<p>コロナも各種（重篤か否か）により、外来の発熱外来を増やすか、又は病棟を増やすかを臨機応変にできればと思います。災害時にもスムーズな対応が可能になればと思います。</p>	<p>病床については、保健・医療提供体制確保計画において、感染状況や病床稼働率により、病床数を段階的に運用しています。</p> <p>発熱外来については、公表医療機関数をさらに増やすなどして、身近な発熱外来で受診できるよう、引き続き努めてまいります。</p>
3	<p>諸会議等での意見と対応について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「退院支援や地域との連携が重要」への対応について、在宅医療をすすめるためには、病院医師の理解と協力が必要。（柏市では各病院へ医師、看護師、MSWなどへの出前講座を行った） ・ 「市町村との連携強化が重要」への対応について、医療・福祉系多職種と行政の顔の見える関係づくりが大切。（柏市では、行政が事務局となり、様々な会議を定期開催している。） 	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>県でも、地域医療の充実のため、多機関、多職種連携が重要と認識しています。今後の取り組み検討にあたり、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>報告事項2について、本研究会が調整会議の活性化のために具体的な提言を行い有効に機能することを期待します。</p>	<p>地域医療構想研究会は、地域医療構想調整会議をより有効に機能させるための方策等について、議論することを主目的に開催したものです。研究会の議論を踏まえ、地域で協議すべき課題、必要な取組等を整理し、地域医療構想調整会議に取り入れるよう努めてまいります。</p>
5	<p>1 東葛北部保健医療圏における病床不足の状況を踏まえた適切な病床配分を今後ともお願いしたいと考えます。</p> <p>2 松戸市では、市立福祉医療センター東松戸病院及び介護老人</p>	

	<p>保健施設 梨香苑 の廃止（令和6年3月末予定）や民間医療機関の参入を含む病院事業の再編計画（案）を策定し、住民説明会やパブリックコメントなどの手続を経て同計画（案）を成案化するとともに、本年市議会にその実施のための関連議案を提出する予定となっております。今後、松戸市から情報の提供を行ってまいりますので、構成員各位におかれましては積極的な協議・協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	
6	<p>今後、本計画に定める、東葛北部地域の見直し後の基準病床数や評価指標目標が計画期間内に達成されるため、必要な議論が円滑に進むようお願いいたします。</p>	<p>引き続き地域医療構想調整会議における協議等により、地域の実情に応じた質が高く効率的な医療提供体制が確保されるよう、医療機能の分化及び連携を推進してまいります。</p>
7	<p>新型コロナウイルス感染症で急性期の感染症対策が急務である。大規模な感染症の流行は大体10年おきであるので、高齢化社会に備える病床数は必要だが、柔軟な運用ができる余地も必要と考える。</p>	<p>新興感染症等の感染拡大時における医療については、令和6年度からの次期医療計画の記載事項とされ、現在、国において、その具体的な記載内容等について検討されているところです。</p> <p>県としては、こうした国の動向を注視しつつ、調整会議等で寄せられた地域の皆様の御意見を受け止め、今後行われる次期計画の策定の際の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>書面開催では進展しないと思います。</p>	<p>次回会議の開催方法につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等を鑑み、適切に判断してまいります。</p>